

平成 27 年度

教科に関する科目

国 語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は2問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1問につき1枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に2枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから60分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

第2次試験

問1 平成20年3月に告示された「小学校学習指導要領」第2章 第1節 国語の「C 読むこと」では、第5学年及び第6学年の指導事項として、「ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。」が示されているが、指導を行う際の留意点や工夫について、600字以内で述べなさい。(540字を下回らないこと。また解答欄への記述に際し、段落を設ける必要はない。)ただし、「系統性」「音読と朗読の違い」及び「具体的な言語活動」の3点については必ず言及すること。

問2 平成20年3月に告示された「小学校学習指導要領」第2章 第1節 国語〔第3学年及び第4学年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕〔2)書写に関する次の事項について指導する。〕の「ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。」について、授業づくりのポイントを600字以内で述べなさい(540字を下回らないこと。また解答欄への記述に際し、段落を設ける必要はない)。ただし、「毛筆の取扱いの位置づけ(硬筆との関係)」、「点画の種類と筆圧との関連」、「具体的な単元や課題例」の3点については必ず言及すること。